

令和8年度 小国町立叶水小中学校 教育計画

1 学校教育目標

進んで学び 豊かな心と健やかな体で たくましく生きぬく子どもの育成

2 めざす子ども像 「知・徳・体」

- (1) 進んで課題をとらえ、探究しながら、確かな学力をつけていく子ども
- (2) 成功体験の積み重ねにより、自分に自信を持ち、豊かな心をもつ子ども
- (3) 健康づくりに励み、ねばり強く働くたくましい子ども

3 めざす学校像 「自立・共生・貢献」

- (1) 個性を発揮し合い、協働しながら目標に向かい、自立させていく魅力ある学校
- (2) 互いを尊重し、心が通い合い、あいさつや授業や行事で心と声が響き合う学校
- (3) 地域を愛し、つながりをもって地域や社会に貢献し、地域に愛される学校

4 めざす教師像 「成長・創造・傾聴」

- (1) 小規模・小中併設校の良さを生かし、自らも成長していく教師
- (2) 言葉と心を大切にし、豊かなアイディアと活力に満ちた人間味あふれる教師
- (3) 多面的に子どもを理解し、寄り添いながら子どものよさを引き出し伸ばす教師

5 スローガンと叶水っ子の力

「つなぎ、ひらき、ねづく叶水っ子」

～叶水ならではの、叶水でしか、の発想で未来を創る子どもを育む～

か 感性豊かに
の 伸び伸びと
み みんなを大切に
ず ずっと学び続ける

6 経営の方針

(1) 「目指す子ども像」のために

- ① 「進んで課題をとらえ、探究しながら、確かな学力をつけていく子ども」のために
○学校研究を核として確かな学力の向上を図る。

研究主題、つきたい力、視点の共有（教職員と子ども）

- 表現力、コミュニケーション能力の育成のために、町内外との交流を深めるとともに、校外学習や体験学習の充実を図る。

- 応募や大会コンテスト、音楽活動等によって表現力を高める。読書活動によって思考力や豊かな心を高める。

② 「成功体験の積み重ねにより、自分に自信を持ち、豊かな心をもつ子ども」のために

- 自分の良さを感じることで意図的な活動の実施と生徒指導の機能の具現化を図り、自尊感情と互いを思いやる豊かな心を育む教育活動を充実させる。

○小・中併設校のよさを生かし、発達段階を考慮した主体的、自治的な交流活動を充実させ、自立・共生・貢献を促す。

○夢や目標を持たせ、生き方につながるキャリア教育の視点を重視した教育活動を構築かつ展開する。

○小国町「保小中高一貫教育」の目標の達成を目指し、学びの連続性に視点をおいた教育活動を推進する。

③「健康づくりに励み、ねばり強く働くたくましい子ども」のために

○「いのち」を支える健やかな体づくりのための体力の向上を図る。

○生活リズムの確立を図り、学校給食と共に食育の推進を行う。

○働く尊さを体感させるために、協働による清掃や体験活動の充実を図る。

(2)「めざす学校像」のために

①安全・安心を最優先とし、事故防止や危機管理を組織的に徹底する。

②すばらしい自然とふるさとを愛する心を育てるために、家庭や地域の教育力を活かし、地域と一体となった教育活動を展開する。

③コミュニティ・スクールの趣旨のもと、「地域とともにある学校づくり」に取り組む。

(3)「めざす教師像」のために

①絶えず「叶水だからこそできる教育とは」を自問し、授業改善や指導改善に努める。

②極小規模校・小中併設校のよさを最大限に生かし、家族的でありながらも小中横断かつ組織的な教育活動を推進する。

③「全校生一人ひとりが自分の児童生徒」の認識に立ち、多面的生徒理解に努め、心を込めて聴く姿勢を大切にする。

7 本年度の重点と具体策

(1)「進んで課題をとらえ、探究しながら、確かな学力をつけていく子ども」のために

①学校研究・まなび指導部を中心とした「叶水の学習スタイル」の確立と成果検証

○研究の視点・単元構成や課題設定の工夫

○「わかる授業」学力向上のための継続的な授業改善・工夫

○複式授業（視点）の向上

○小中乗り入れ（可能な範囲で）

○学調や標準学力調査、その他テストなどの結果に基づいた個人指導

○子どもたちの学習意欲の高まり・家庭学習との連携

②大会、コンクール、応募への積極的な参加

○希望や特性を活かし、個性を伸ばし、自己を表現させる

○他との交流する場（大会、コンクール、対外試合）をつくる

○成果を確認させ、自己肯定感を高めさせる

※挑戦や高みを目指すことの推奨

英検、漢検などへの挑戦。表彰を目指しての参加や応募。

③小国町保小中高一貫教育の推進

○小中連携

- ・小には中を具体的な目標とさせ、中には小の模範となるように意識させる
- ・教員の小中乗り入れによる専門性を生かした指導
- ・小中のスムーズな接続 中1ギャップの防止

○中高連携によるキャリア教育の推進

- ・中学卒業後を含む将来の目標や将来のあるべき姿を考える場の設定

○叶水・小国連携による他との交流の推進

④外国語（活動）の充実

○特設教科「国際」による他（海外）との交流の場の設定

○表現力や相手意識の育成の場の設定（オンライン交流など）

○英語弁論、英語検定への興味関心を高め、参加・受検を推奨する。

⑤基礎基本の定着＝学びの下地づくり

○読書、新聞活用、音読集会→授業とのリンクが叶水の強み

（２）「成功体験の積み重ねにより、自分に自信を持ち、豊かな心をもつ子ども」のために

①十分な児童生徒理解に基づいた意図的な指導（学習指導・児童生徒指導・特別支援）を行い、自尊感情と互いを思いやる豊かな心を育む教育活動を充実させる。

○学びのプラン

○エンカウンター等による自己理解や他者理解の機会の確保

○日常的なコミュニケーション・スクールカウンセラーの活用

②自治活動の充実。子どもに「自分から」を意識させる

○生活や自分を振り返り、よりよい集団を自分たちでつくる意識を育てる

○取り組みの意味、意義、ねらいを意識させる

・「言われたからする」から「自分からする」へ

・「たのしかった」から「みんなで楽しむことで～が達成できた」へ

③体験活動や行事を通して

○体験や生の声を聴く機会は子どもがより学びを実感できる貴重な機会と捉える

○運動会・文化祭・修学旅行を育成の重要な場と捉える。

・「自分たちでつくる行事をつくる」

・修学旅行のねらいや重点の明確化

・事前の指導や準備

○子どもに委ねる。振り返りの場を設定し、学びを実感させる

④学校と地域（保護者も含む）の連携協働を進める

○子どもたちと地域の交流の場の設定

運動会や文化祭の合同開催、地域との交流、日常の挨拶

交流や貢献によって地域を活性化。地域から認められて自己肯定感を高める

○地域資源を活用した学校運営の推進

・体験学習講師、放課後子ども教室（ひだまり）、営繕補修など

○学校運営協議会や学校評価などの結果を受けた経営改善

⑤いのちの大切さ＝「自分の生き方やあり方の大切さ」を意識させる

○将来の夢や希望を意識させ、学びに向かう力に結び付ける

キャリア教育（体験学習、講話、家業体験、C S Wなど）

（３）「健康づくりに励み、ねばり強く働くたくましい子ども」のために

①安全な学校づくりと自ら命を守る指導の充実 学校事故０を目指す

○学校安全計画に基づいた事故防止の取り組み、安全教育の実施

○校内の安全点検の実施と素早い改善

○登下校の指導と安全確保の取り組み

②望ましい生活習慣【生活リズム、食育、体力向上】を身につけさせる

○家庭との連携協働

・生活リズムづくり・食育の取り組み

・望ましいネット、SNSの使用についての取り組み

・体調不良時の医療機関受診や健康診断後の精密検査と治療のすすめ

○部活動、スポーツタイム、持久走、外遊びで体力の向上を図る。